

(3) 農林水産省生産局長賞等受賞者概要

【農林水産省経営局長賞】

団体名 有限会社いずみの里
代表者 久保充己
所在地 大阪府

〔表彰のポイント〕

農家女性による学校給食への食材供給、都市住民との交流、伝統の味の伝承に貢献

〔取組の概要〕

- 商品開発と量販店への販路の拡大
マーマレードから始まった加工品の商品化も現在では11品目に。安定した販路として大手量販店との提携に取り組み、現在では15箇所で販売している。
- 市内産米で米粉パンを商品化
市内産米を使った米粉パンづくりの研修に取り組み、平成16年4月から朝市で販売。毎週約400～500個、年間約2万個を製造し、市内保育園児のおやつにもひきあいがある。
- 加工品を学校給食に供給
「子供たちに本物の味を伝えたい。」という思いから、市に働きかけ、市内小中学校11校にみそを供給、保育園の給食食材として加工品を供給するほか、給食向けの「大阪エコ農産物」を生産している。
- 本物の味で「食育」活動
学校給食にみそを使ってもらうために、栄養士を対象にみそづくり講習会を開催。これを契機に平成14年度からは毎年、小学生にみそやマーマレードづくりの体験指導を実施し、各団体の農産加工や郷土料理体験教室の活動にも講師として参加。府内の農家女性の食育活動のモデルとなっている。
- 地域農業のPR、理解促進に貢献
平成3年から、大阪市中央区の住民との交流会に毎年参加。大阪市内で和泉市の農業をPRしている。近隣市町女性団体等との交流会など多くの機会を捉えて地域農業のPRを行っている。

